

東京農工大学大学院農学研究院・動物生命科学部門
テニュアトラック教員（准教授）公募について

1. 公募の概要

東京農工大学大学院農学研究院・農学部では、本研究院・農学部のテニュアトラック制度に基づき、任期5年のテニュアトラックポストの准教授を公募いたします。

本制度は、若手研究者を、任期付きで雇用し、将来に亘って活躍できる農学研究院・農学部の優れた教育職員として育成するものです。任期中に研究と教育を推進する経験を重ねた後に、教育職員としての適性について公正・厳格な審査を行い、本学准教授のテニュア（任期の定めのない常時勤務を要する教育職員としての身分）を取得させることを目的とするものです。採用された若手研究者は、原則として独立した研究室の使用が認められ、研究の立ち上げのスタートアップ資金やメンターの配置等の援助が受けられます。また、学部授業および会議などの業務が常勤教育職員より一部軽減されます。大学院の担当については、別途資格を判定して認定されます。任期3年目と5年目にテニュア付与審査を実施し、テニュアトラック期間内に所定の業績を上げたと評価された場合は、任期の定めのない常勤の教育職員としての身分（テニュア）として本学の准教授に採用する予定です。

なお、テニュア付与審査の方法と基準の概要については、別紙（「農学研究院テニュア付与審査方法・基準の概要」）を参照してください。

2. 募集職名 准教授（テニュアトラック）（1名）

3. 所属先 農学研究院 動物生命科学部門

4. 兼務先 農学府共同獣医学専攻（大学院博士課程）
農学府国際イノベーション農学コース（大学院修士課程）
農学部共同獣医学科（獣医臨床腫瘍学研究室）

5. 専門分野

獣医伴侶動物外科学分野

農学研究院動物生命科学部門においては、生命科学の先端的手法を駆使して基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学の各分野の研究ならびに教育を推し進め、豊かな人間社会の創出と安心・安全な生活環境の保全に寄与することを目標としています。本部門では、獣医臨床腫瘍学分野における研究遂行能力に長け、臨床腫瘍学、臨床病理学、麻酔学・手術学、軟部外科学などの外科系科目を中心とした幅広い臨床系授業科目と農学部附属動物医療センターにおける外科系診療を担当し、国内外で活躍する獣医師の育成に意欲を持って取り組んでいただける教員を公募します。

6. 応募資格

- ・博士の学位を有すること。

- ・研究遂行能力に長け、熱意をもって大学院生・学部生に対する教育・研究指導を遂行できること。
- ・学内業務や社会貢献を積極的に担い、リーダーシップを発揮できること。
- ・国際的視野（英語活用能力）を有すること。
- ・国籍は問わない。ただし日本の獣医師免許を持ち、日本語で授業が可能なこと。
- ・伴侶動物臨床の経験を有し、獣医伴侶動物外科学分野に精通した獣医師であること。
- ・動物医療センターにおける診療を含む職域業務を担えること。

7. 担当予定科目：

(学部) 共通教育科目, 臨床腫瘍学, 臨床病理学, 外科学総論, 麻酔学・手術学,
軟部外科学, 総合参加型臨床実習, 獣医学演習, 卒業研究など
(大学院共同獣医学専攻) 研究デザイン演習, 研究プレゼンテーション演習,
獣医臨床医科学特別演習, 獣医臨床医科学特論など
(大学院農学専攻) 国際応用動物学Ⅱなど

8. 採用予定日

2022年4月1日以降のできるだけ早い時期

9. 勤務条件

- 1) 給与 年俸制, 経歴・職位・職務内容に応じて, 本学の規程により決定 (賞与および各種手当あり)
- 2) 勤務 裁量労働制 (7 時間 45 分/日)
- 3) 勤務地 東京農工大学 府中キャンパス
- 4) 任期 あり (テニユア審査の結果により任期なしへ転換)

10. 提出書類

- 1) 履歴書 (書式任意, ただし写真添付のこと。連絡先として, E メールアドレスを明記のうえ, 高校卒業以後の学歴・留学籍・職歴などを記すこと)
- 2) 研究・教育業績リスト (1部) (書式任意)
 - ・学位論文, 原著論文 (査読の有無を明記), 総説, 著書, 国内外シンポジウム等発表 (招待講演の有無を明記), 研究費獲得状況, 特許, 受賞など
 - ・所属学会・役員, 教育実績 (担当授業科目等), 社会貢献活動などについても記載
- 3) 主要業績の別刷り (5 編以内)
- 4) 3)の各業績についての要旨 (A4 1 枚以内)
- 5) これまでの研究成果の概要と着任後の研究計画 (A4 2 枚以内)
- 6) これまでの教育実績 (担当授業科目等) と着任後の教育に関する抱負 (A4 2 枚以内)
- 7) 応募者に関して問い合わせ可能な者 2 名についての情報 (氏名, 所属, 連絡先電話番号, E メールアドレスなど) (書式任意)
推薦状がある場合には, A4 用紙 1 枚程度 (書式任意)

11. 書類提出

提出書類をPDF ファイルとして書類提出先Eメールアドレスへ電子メールにて提出のこと
(最大ファイル容量 10 MB)。ファイル容量が超過する場合は、送付前に以下の問合せ先に連絡
をとること。

※メール件名に「准教授応募（応募者氏名）」と記載してください。

※提出書類を受信しましたら、受信確認の返信をいたします。返信が届かない場合は、下記の
問合せ先に必ず連絡をしてください。

1 2. 応募締切り

2022年1月7日（金） 午後5時 必着

1 3. 選考方法

書類選考後、面接を経て決定します(オンライン面接を予定)。対面で面接を実施する場合、
面接の際に要する費用等は応募者の負担となりますので、あらかじめご了承ください。また、
書類審査および面接選考結果の通知を含めて、選考に関する連絡は原則、電子メールで行い
ます。

1 4. 問い合わせ

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学大学院農学研究院

動物生命科学部門准教授（テニュアトラック）選考委員会

委員長 打出 毅

Eメール：uchide@cc.tuat.ac.jp

※男女共同参画の積極的推進

東京農工大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。

http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/danjo_new/index.html（別ウィンドウで開きます）

（詳細）東京農工大学男女共同参画推進室HP

農学研究院テニユア付与審査方法・基準の概要

1. テニユア付与審査は、テニユア付与審査委員会（以下「審査委員会」という）において行う。
2. テニユアトラック教員は、当該部門等と合議の上、着任後速やかに研究計画を審査委員会に提出する。
3. 採用後6ヶ月以内に審査委員会が、評価基準をテニユアトラック教員に通知する。
4. テニユアトラック教員のテニユア付与審査は、テニユアトラック期間中の3年目及び5年目に行う。
5. テニユア付与審査は、テニユアトラック期間中の実績、研究計画書、テニユアトラック教員による自己評価書、前歴の業績も含めた履歴および教育研究業績一覧、研究業績にかかる別刷り及び今後の抱負を含む成果発表（質疑を含む）を通じて実施する。
6. 前項の審議においては、テニユア付与審査委員会が承認した外部評価委員から書面等の方法により、当該テニユアトラック教員の本研究院・学部の審査対象職位のテニユア教員としての適格性についての評価意見を求めた上で、テニユア付与の適否を判定する。
7. 出産・育児休暇等による評価対象期間の短縮とそれに伴う評価基準の見直し及びテニユア付与審査時期の調整を行うことができる。
8. 審査結果への審査対象者本人からの一定期間内の異議申し立てを認める。